

報道機関各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担 当 者:猿渡・瓜生
連 絡 先:0944-32-9183

「寶満神社奉納能楽」奉納上演

～地域で守り受け継ぐ新開能～

みやま市高田町新開地区で伝承されている新開能は、公式には「寶満神社奉納能楽」と言い、北新開・南新開地区の人々により継承されています。能楽師ではなく素人が上演する能として高く評価され、昭和51年に県指定無形民俗文化財に指定されました。現在は、毎年10月第3土曜日に新開能狂言保存会により奉納上演されます。

本年は、4年ぶりに一般の方もご覧になれます。また、子どもたちによるお謡三番、新開能狂言保存会会長による新開能の歴史講話も行われます。

【新開能とは】

寶満神社での奉納能楽は享保元（1716）年に柳川藩主立花鑑任が祈願成就のため、寶満神社で、「能楽」を能楽師により奉納したことが始まりと言われます。

明治時代になり、神社氏子たちにより奉納されるようになり、その後、新開地区の人々により受け継がれています。

大きな特色は、能楽師・狂言師ではなく地元の人が能・狂言を上演するというところです。

■日 時 令和5年10月21日（土） 上演15:00～

■場 所 みやま市高田町濃施14 まいピア高田多目的ホール 能舞台

■番 組 お謡い三番（小学生）15:00～
講話（新開能の歴史）15:10～
嵐山（能） 15:30～
三本の柱（狂言） 16:20～
敦盛（能） 16:50～
千鳥（狂言） 17:50～
猩々（能） 18:20～

※時間はあくまでも予定です